

令和4年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) エンゼル認定こども園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもが自由にのびのびと好きな遊びを楽しむ中で、『子ども主体』の保育を目指して日々取り組んでいる。 ○ 保育の中でのできごとを取り上げて積極的に話し合いや分かち合いの時間を持っているが、子どもの声をひろって保育を展開することが難しいので、保育者の気づきの視点を伸ばしたい。 ○ さらに発達を理解し、一人ひとりを大切にする保育をめざしたい。
目標	子どもののびのびとした育ちや学びをみんなでわかちあう
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの成長発達を保育者全員で意識していく。何を作るか、何をするかの計画だけでなく、こういった感覚や感性を引き出したいか、どういう経験をしてほしいかという視点で考えるようにしている。 ○ クラスの保育者全員が保育に加わる意識を大切にする。保育の内容や進め方をみんなで共有することで何を目的とするのか意識していく。思いついた時にアイデアを書いて貼ってみんなが見やすいようにしたり、経験年数を問わずに意見を出しやすくするようにしている。 ○ 子どもの育ちを積極的に伝えていくためにドキュメンテーションで知らせていく。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『子ども主体』の保育に向けて進めるなかで、“自由でのびのびと遊ぶことのできる環境”が重要であり、見直す必要があると考えた。子どもの成長発達は「あそび」のなかで育まれていくものだと再認識しながらクラスごと、学年ごとにみんなで話し合い、検討し、再構成していこうと考えている。 ○ ドキュメンテーションで伝える大切さを呼びかけたことで、積極的に取り組むクラスが増えて来た。遊びや活動での子どもの姿や、育ち、学びなどを10の姿にあてはめて考えることで、何を目的に保育をしているのか、意識しようとする保育者が増えてきている。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども理解を大切にし、「子ども主体の保育」を目指そうとする目的の共有がしっかりとされている。 ○ 職員みんなで、様々な子どもたちの遊びが発達に及ぼす意味についての共通理解を図り、積極的に保育に取り組んでいる。 ○ 手間暇を惜しまず、ドキュメンテーションを有効に活用し、日々の子どもの姿をアウトプットすることで、自らのモチベーションアップと保護者の啓発に努めている。